

令和4年度東久留米市健康づくり推進協議会（書面開催）

実施報告書【要点録】

実施期間：令和5年2月16日（書面開催通知）～令和5年3月3日（回答〆切）

〔 開催予定日（令和5年2月10日）が天候不良により対面開催を中止し  
書面開催へ変更 〕

出欠：健康づくり推進協議会委員 出席（回答あり）13人、欠席（回答なし）1人

【委員からの回答】

1 各委員から「所属の組織等で日頃感じている健康づくりの状況」について

委員からの回答票に記載されている内容は多岐にわたっており、地域での様々な取組の状況の把握につながった。その中で、健康づくりに影響する主な要素として、「市民の意識の高さ」「学習の機会」「環境の良さ（自然・場所等）」「自主活動のつながり・働きかけ」「健診や医療の提供」「市民と行政の連携（高齢者・こども）」など、様々な地域のつながりがあると感じ取れた。具体的な状況は以下のとおり。

①市民の意識の高さ

- ・「いつまでも元気でいたい」という心づもりがある高齢者が多い
- ・健康意識の高い高齢者が多く、日頃より運動、社会参加、栄養、フレイル予防などに取り組んでおり、周囲の方々にも影響している
- ・「スポーツをしよう」という市民が多いと思う 等

②学習の機会

- ・市民のヘルスリテラシーを高めるため、市民講座やラジオで医療や健康のための情報発信をしている
- ・自主組織活動をするにあたり研修会や学習会の開催をしている
- ・コロナ禍が落ち着き、市民が参加できる事業やスポーツを再開している 等

③環境の良さ（自然・場所等）

- ・この地域ならではの自然が多い（黒目川、落合川、竹林公園、六仙公園等）
- ・清流保全宣言都市として、市の財産ともいえる清流がある
- ・自然の中でウォーキングやランニングしている人が多い
- ・身近なところに高齢者の集える地区センターがある 等

④自主活動のつながり・働きかけ

- ・地区センターで気軽に参加できる体操教室を開催している
- ・様々な自主活動組織があり、お互いにコミュニケーションを図っている（シニアクラブ連合会、自治会での活動、認知症カフェ、趣味の活動等） 等

⑤健診や医療の提供

- ・予防接種、各種健（検）診、歯科健診などを実施している
- ・かかりつけ医との良い関係がある 等

⑥市民と行政の連携（高齢者・子ども）

- ・行政との連携で活動している  
（民生・児童委員、健康づくり推進員、社会教育委員会、スポーツ推進委員会、シニアクラブ連合会、地域活動栄養士会等）

2 ご意見等

- ・口腔ケアの重要性について
- ・本市の65歳健康寿命の高さの周知
- ・健康づくり推進員活動の重要性 等

以上